

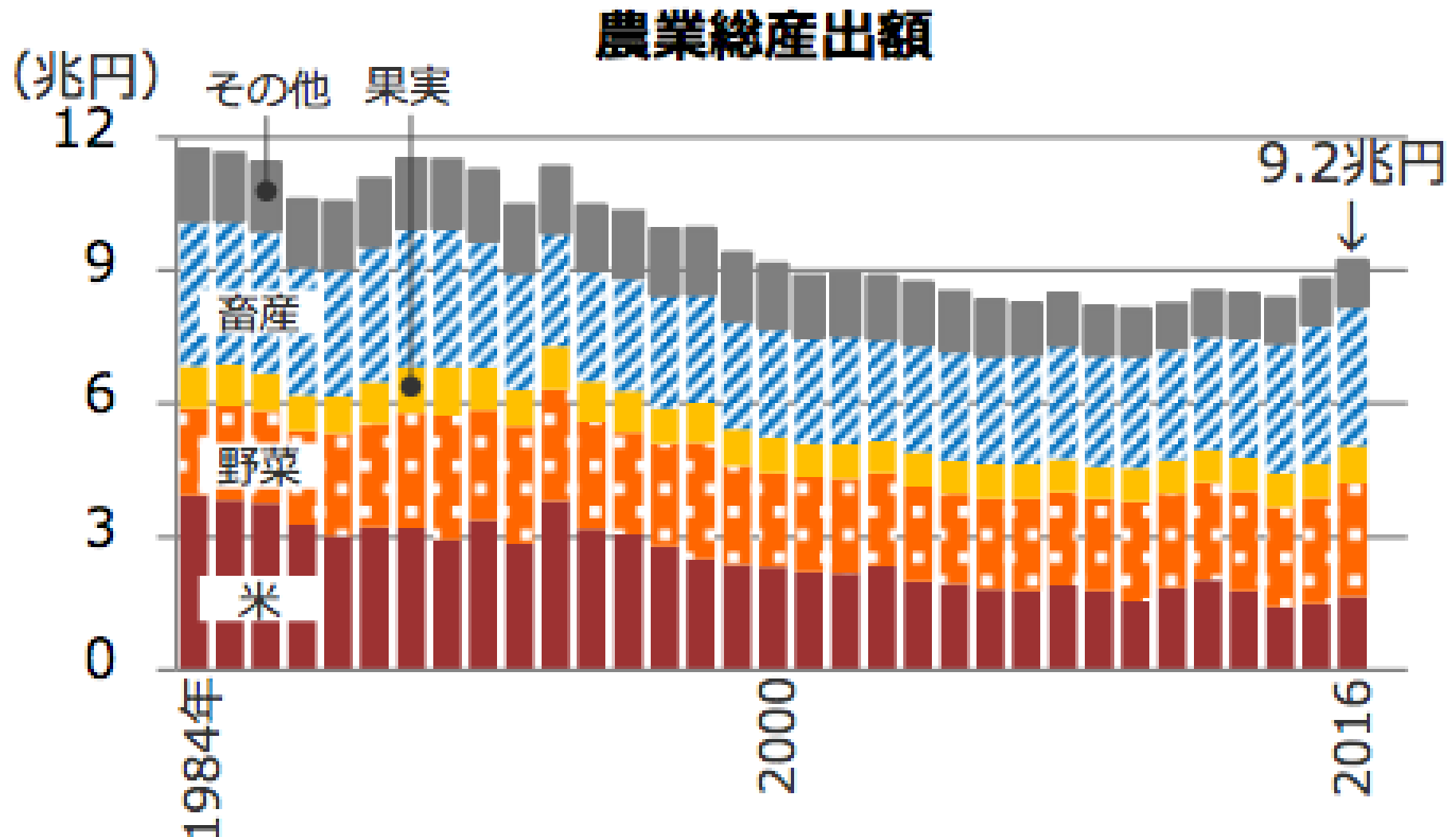
# 新規参入・定着等促進支援事業

一般社団法人

日本有機農業普及協会

| 事業内容       | 回数 |
|------------|----|
| 自治体職員向け研修会 | 8回 |
| 新規参入支援者研修会 | 5回 |
| 転換促進支援者研修会 | 5回 |

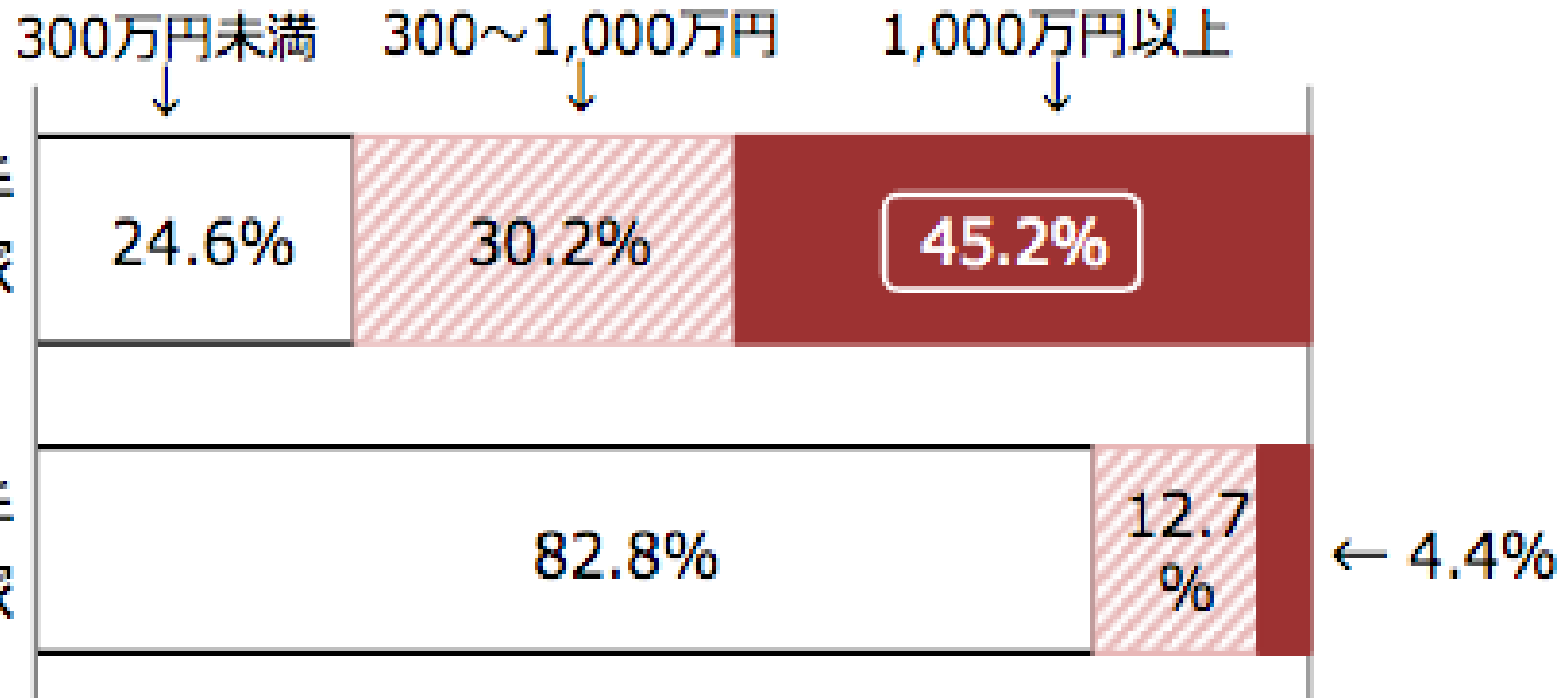
# 日本農業V字復活の兆しあり！



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

# 若手農業者の躍進が続く！

## 農産物販売金額規模別の戸数割合



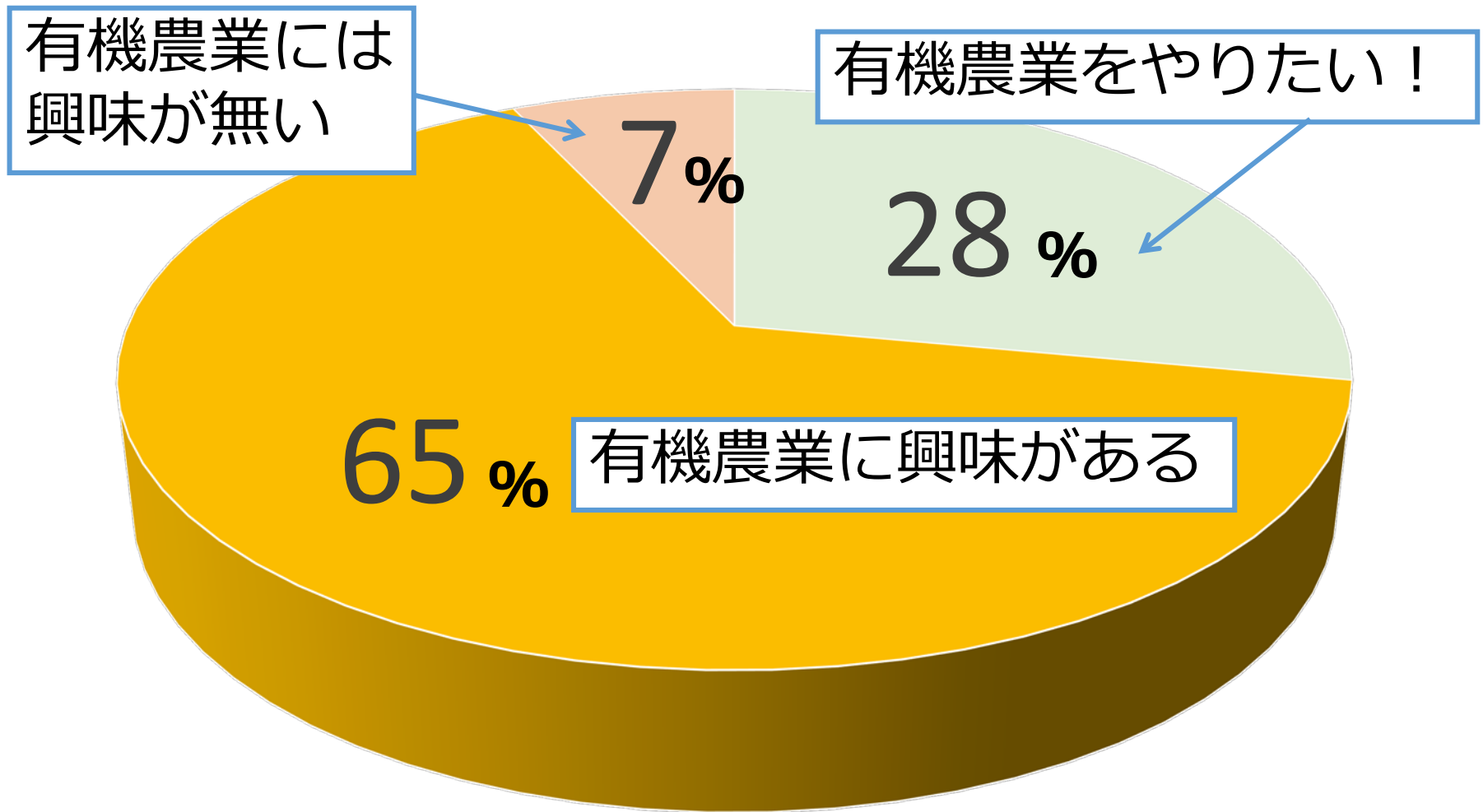
資料：農林水産省「2015年農林業センサス」（組替集計）

# 有機JAS取得農業者も増えている！

図 21 有機 JAS 制度のもとでの有機農産物の格付数量の推移



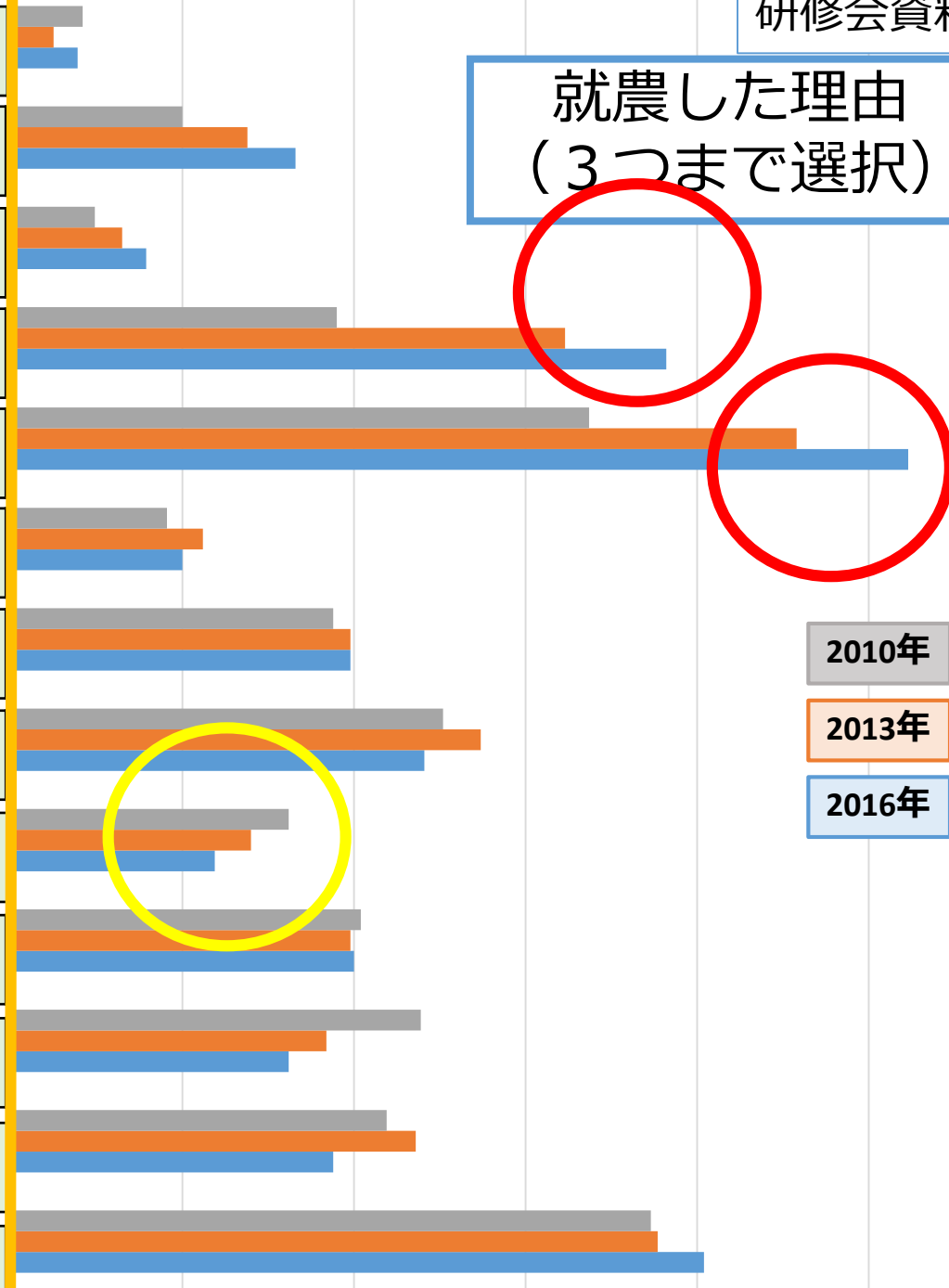
# 新規就農希望者は有機農業がやりたい！



新・農業人フェアにおける就農希望者の意識  
(全国農業会議所調べ)

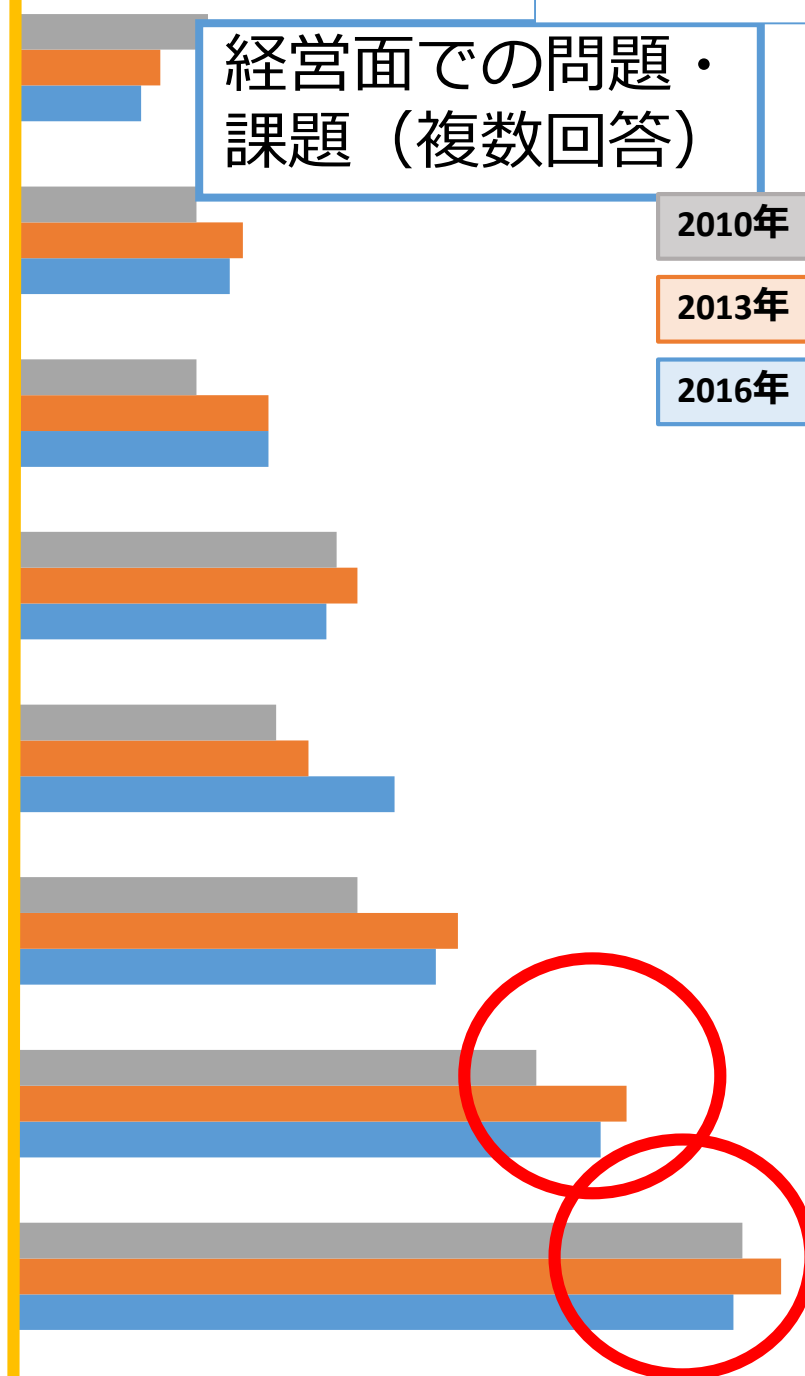
就農した理由  
(3つまで選択)

|                         |      |      |      |
|-------------------------|------|------|------|
| 都会の生活が向いていなかったから        | 3.9  | 2.5  | 4.2  |
| サラリーマンに向いていなかったから       | 16.6 | 13.8 | 10.0 |
| 以前の仕事の技術を生かしたいから        | 7.9  | 6.5  | 4.9  |
| 農業はやり方次第で<br>もうかるから     | 38.2 | 32.2 | 19.0 |
| 自ら経営の采配を<br>振れるから       | 52.3 | 45.8 | 33.7 |
| 子供を育てるには<br>環境が良いから     | 10.0 | 11.2 | 9.1  |
| 家族で一緒に仕事が<br>できるから      | 19.8 | 19.8 | 18.8 |
| 時間が自由だから                | 24.1 | 27.4 | 25.2 |
| 有機農業を<br>やりたかったから       | 11.9 | 14.0 | 16.2 |
| 食べ物の品質や安全性に<br>興味があったから | 20.0 | 19.8 | 20.4 |
| 農村の生活(田舎暮らし)が好きだから      | 16.2 | 18.4 | 23.9 |
| 自然や動物が好きだから             | 18.8 | 23.6 | 21.9 |
| 農業が好きだから                | 40.4 | 37.7 | 37.3 |



経営面での問題・課題（複数回答）

|                  |      |      |      |
|------------------|------|------|------|
| 販売が思うようにいかない     | 9.9  | 11.4 | 15.1 |
| 農地が集まらない         | 16.8 | 17.8 | 14.2 |
| 栽培計画・段取りがうまくいかない | 19.8 | 19.8 | 14.2 |
| 運転資金の不足          | 24.3 | 26.7 | 25.1 |
| 労働力不足（働き手が足りない）  | 29.6 | 22.9 | 20.4 |
| 設備投資資金の不足        | 32.8 | 34.5 | 26.7 |
| 技術の未熟さ           | 45.6 | 47.6 | 40.6 |
| 所得が少ない           | 55.9 | 59.6 | 56.6 |



⑮先代の経営主からの世代交代： 0.2%

⑭その他： 3.4%

⑬観光農業・レストラン： 6.8%

⑫法人化： 6.8%

⑪労働環境の改善： 10.0%

⑩農産加工： 13.0%

⑨新規作目の導入： 14.3%

⑧直接販売： 15.9%

⑦コストの削減：  
21.1%

⑥単位あたりの  
生産量の拡大： 23.4%

今後5年くらいの農業経営の  
展開において重要と思われる項目  
2010年、2013年、2016年の合計

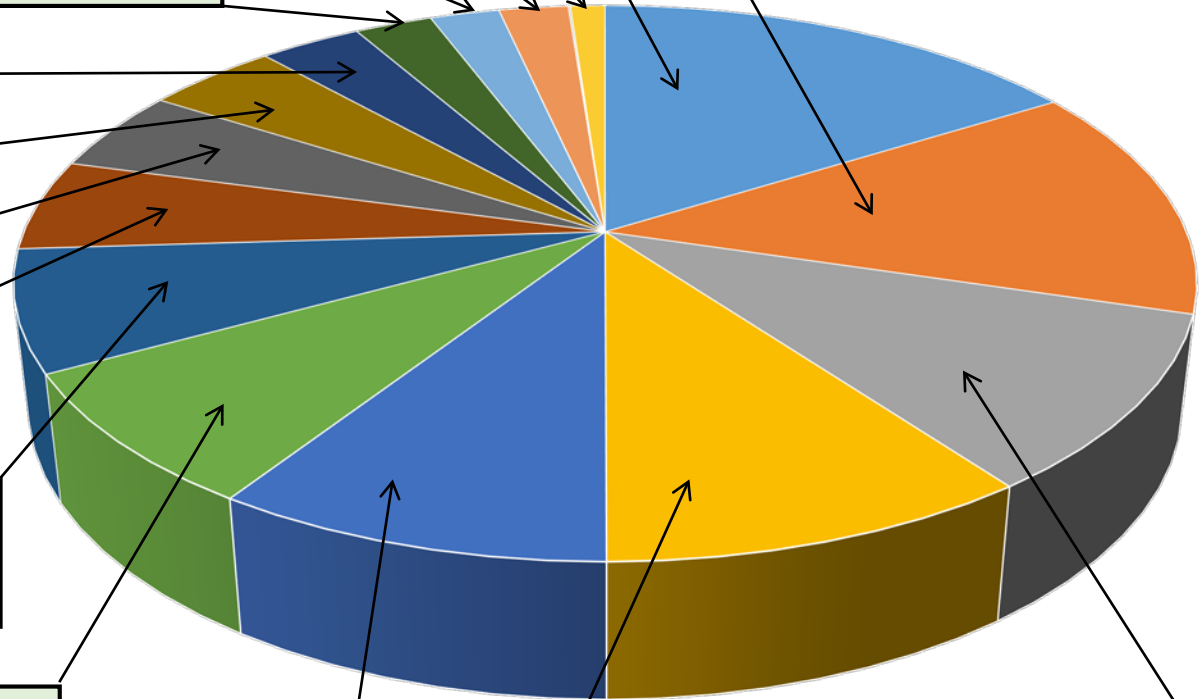
①技術の向上： 48.3 %

②規模拡大： 40.8 %

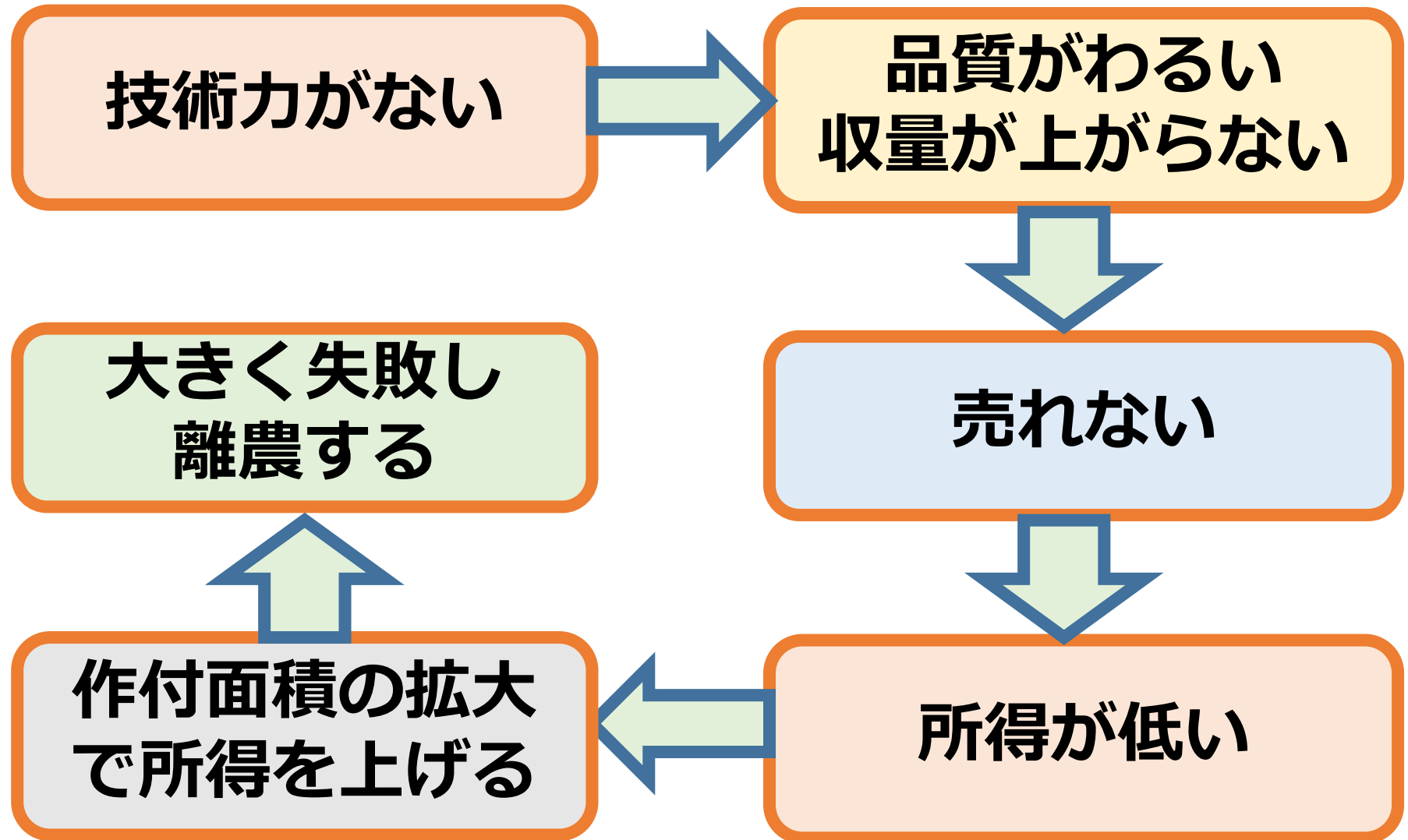
③販路の拡大： 30.7%

④品質の向上： 30.1%

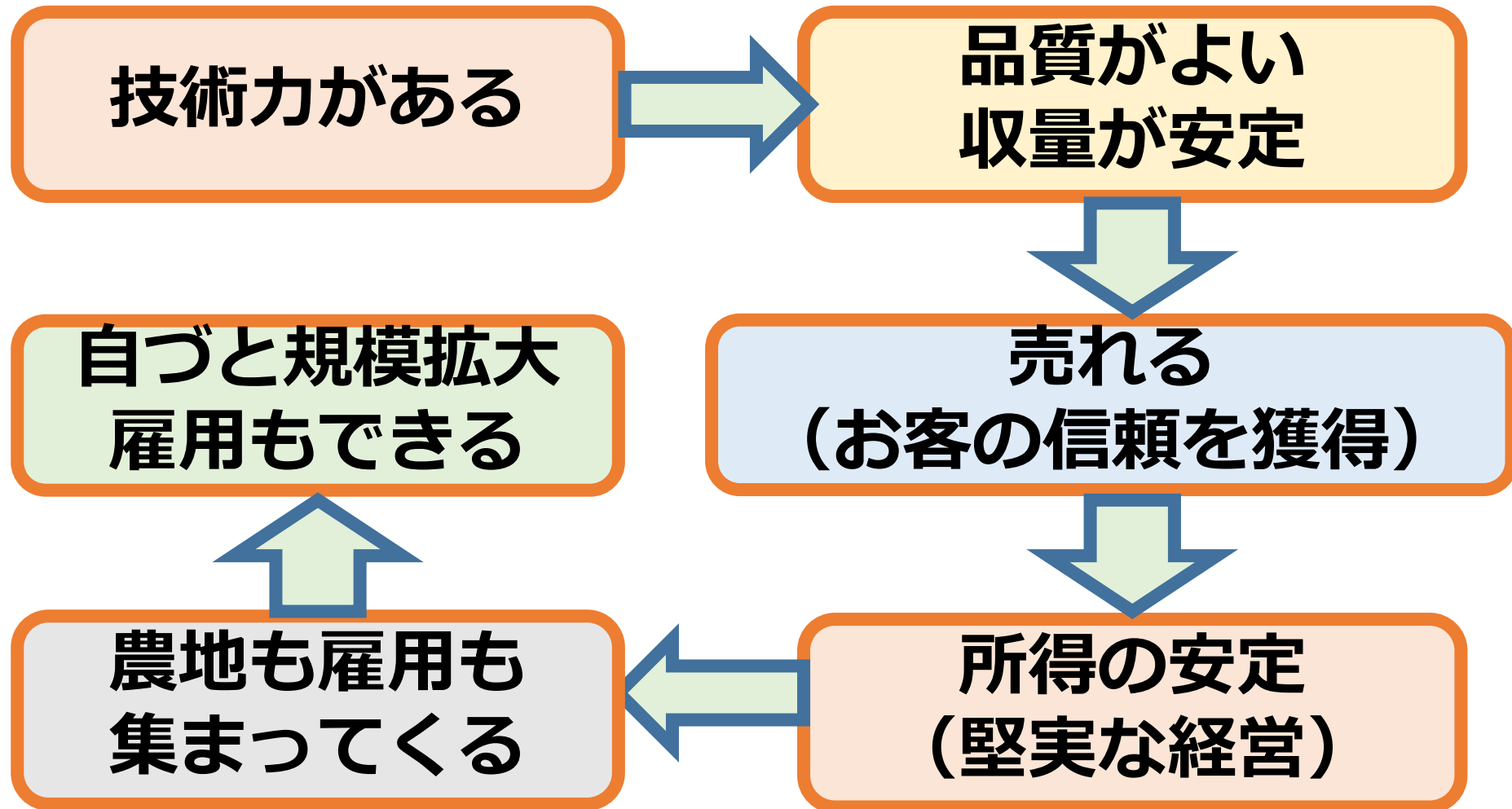
⑤雇用の導入： 27.6%



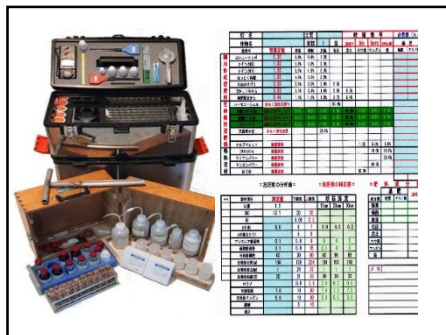
# 技術力がないから始まる負のスパイラル！



# 技術力の向上がいちばんの課題



# 有機栽培の弱点を理解し 確実に克服することが成功の鍵



## ① ミネラル欠乏対策

### ◆ 土壌分析・施肥設計

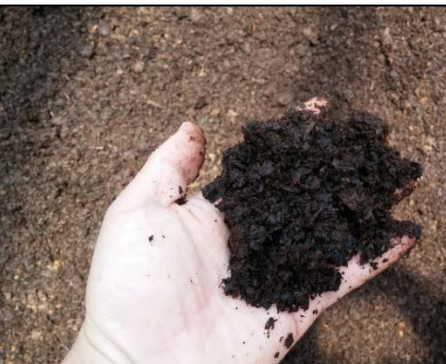
有機栽培ではミネラル欠乏がおきやすい。  
土壌分析で土壌中のミネラル成分をモニタリング。  
施肥設計をおこない減った分だけを正確に施肥する。



## ② 腐敗防止対策

### ◆ 発酵液状化技術

作物の根は液体でないと吸収できないので、  
固体のタンパク質を発酵させて液体のアミノ酸にする。  
土中で腐敗しないように、発酵菌でガードする必要もある。



## ③ 堆肥の選択・施用のミス

### ◆ 中熟堆肥活用・太陽熱養生処理

堆肥も完熟させてしまうと化学肥料と同じ硝酸態窒素になってしまう。水溶性炭水化物を豊富に含んだ中熟堆肥での施用。太陽熱養生処理による土壌団粒化。

# 有機農業の強みは 「高品質・高食味・多収穫」



3 t  
↓  
6 t

12玉  
どり

5本  
どり

撒花  
無し  
でも  
高糖度

青虫に  
負けない  
生命力



慣行栽培  
一般流通品

有機栽培  
のすごい  
もの

硝酸イオン

糖度

抗酸化力

ビタミンC

ほうれん草  
(アトラス)  
熊本県  
八反田幹人さん

|      | 糖度   | 抗酸化力 | ビタミン C | 硝酸イオン |
|------|------|------|--------|-------|
| サンプル | 17.5 | 227  | 101    | 85    |
| 全国平均 | 6.3  | 99   | 69     | 1,991 |

●細胞をつくる  
アミノ酸肥料

発酵を利用した  
液肥製造技術



# 生態系調和型農業理論 Bio Logical Farming

●生命維持に必要不可欠  
防御能力を高めるミネラル肥料



| 項目     | 単位 | 値    | 単位      | 値   | 単位  | 値      | 単位  | 値   |
|--------|----|------|---------|-----|-----|--------|-----|-----|
| 有機質    | %  | 15.2 | 窒素      | %   | 0.8 | リン     | %   | 0.1 |
| 炭水化物   | %  | 45.1 | カルシウム   | %   | 1.2 | マグネシウム | %   | 0.5 |
| タンパク質  | %  | 1.5  | 鉄       | ppm | 120 | マンガン   | ppm | 50  |
| 繊維素    | %  | 2.3  | 亜鉛      | ppm | 10  | 銅      | ppm | 5   |
| 灰分     | %  | 10.5 | モリブデン   | ppm | 1   | ナトリウム  | %   | 0.2 |
| 全窒素    | %  | 0.8  | 全リン     | %   | 0.1 | 全カルシウム | %   | 1.2 |
| 全炭素    | %  | 45.1 | 全マグネシウム | %   | 0.5 | 全鉄     | ppm | 120 |
| 全タンパク質 | %  | 1.5  | 全マンガン   | ppm | 50  | 全銅     | ppm | 5   |
| 全繊維素   | %  | 2.3  | 全モリブデン  | ppm | 1   | 全ナトリウム | %   | 0.2 |

CHO-N  
炭水化物  
付き窒素  
それがアミノ酸

P K Mg  
Ca **Fe** Mn  
硫黄 銅 亜鉛  
ケイ酸 ホウ素  
塩素 モリブデン  
ナトリウム

土壌分析  
施肥設計

## 高品質野菜 の設計図

中熟堆肥（**多糖質**）を利用した  
太陽熱養生処理によって  
土壌を団粒化する

積算温度 900℃・日



堆肥由来の  
放線菌・バチルス菌  
によって病害虫を  
抑制する

●堆肥を使った土づくり

有機農業を  
3つの部分に分けて  
科学的に考察し  
論理的に営農していく  
新しい時代の  
これからの有機農業

# 理論

BLOF  
植物生理  
基礎

BLOF  
作物別  
栽培基礎  
知識

① ミネラル施肥で  
光合成能力強化

1-1 土壌分析

1-1-1 Dr.ソイル実

1-2 施肥設計

1-1-2 肥料知識

② 細胞づくり促進  
アミノ酸肥料活用

2-1 アミノ酸肥料知識

1-1-3 施肥設計ソフト実習

2-2 発酵液肥製造技術

2-1-1 アミノ酸液肥製造実習

2-3 根の観察技術

2-3-1 顕微鏡による根の観察実習

③ 土壌団粒化  
で根力UP

3-1 中熟堆肥活用  
太陽熱養生処理

3-1-1 太陽熱養生処理実習

3-2 堆肥知識

3-2-1 堆肥の見分け方実習

3-2-2 堆肥製造実習

④ 少量多灌水技術

4-1 硝酸発生抑制技術

4-1-1 硝酸イオン計測実習

4-2 灌水技術

4-2-1 灌水実習

4-2-2 マルチ張り実習

⑤ 微生物活用

5-1 微生物知識

5-2 微生物培養

5-2-1 微生物拮抗試験実習

5-2-2 顕微鏡操作実習

⑥ 炭水化物  
積極施用技術

6-1 Growing Map

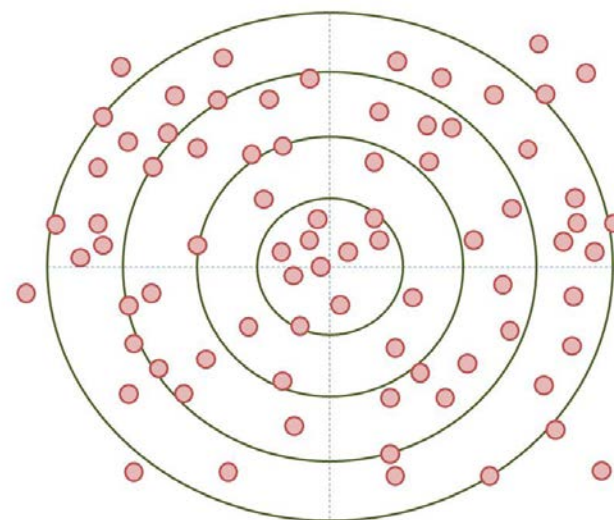
6-2 病害虫抑制技術

5-3-1 微生物活用実習

6-3 作物観察・生育診断

6-2-1 生育診断実習

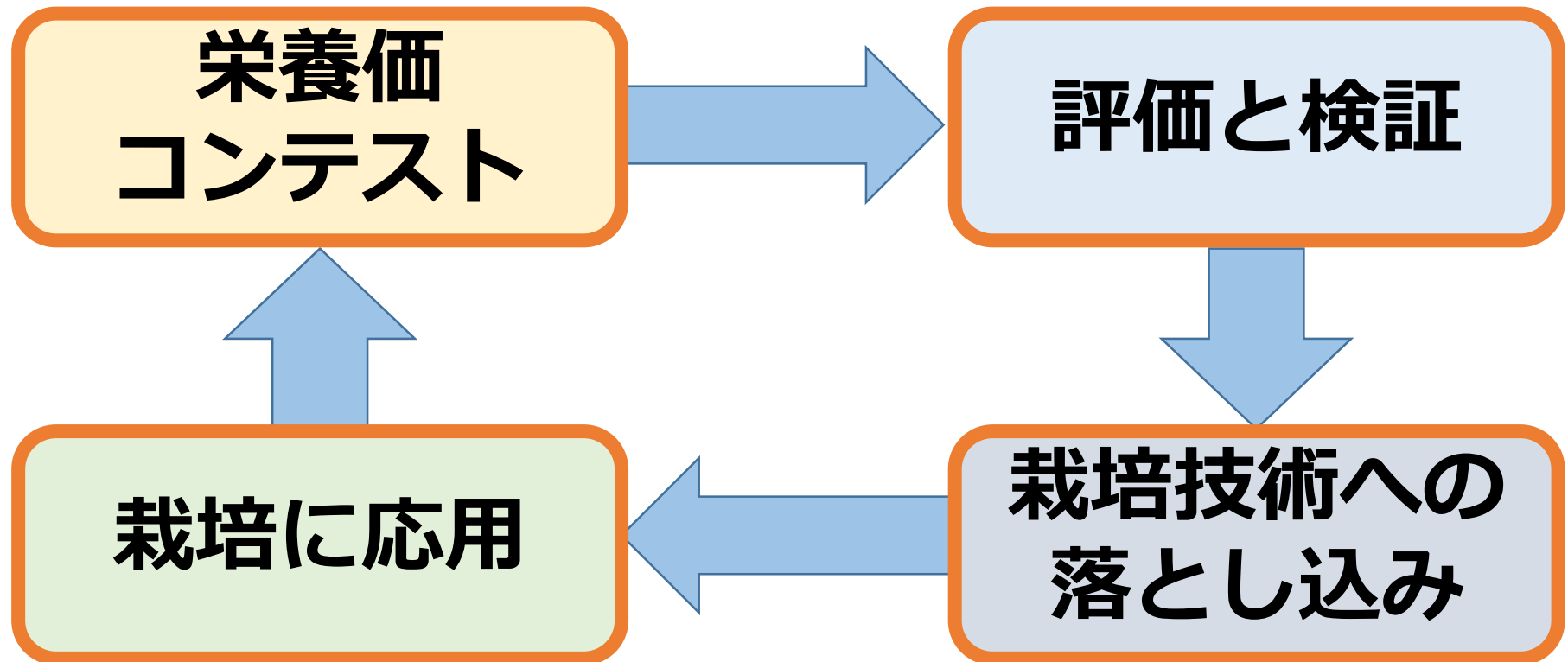
# 有機農業の「強み」をさらに強化する！



コンテストを  
通じて  
高栄養価になる  
栽培方法の  
ストライクゾーン  
を徐々に  
しぼっていく



# 成長のエンジンをつくる！



- 成長エンジンとしての機能
- フィードバックにより技術を進化させている